

以下の情報は、2018 年度以前の入学生用です。

## 行政政策学類の教育目標

本学類は、21 世紀の地域社会が直面している諸問題を、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すために必要な知識と能力をもった人材を養成する。

### 学類ディプロマ・ポリシー

※本学類は、地方の時代、分権の時代にふさわしい新しい地域社会づくり、および地域社会の発展に貢献する人材を養成するために、「研究分野の知識」「問題発見・調査・解読能力」「解決能力・応用能力」「表現力・コミュニケーション能力」の 4 つの能力を、ディプロマ・ポリシーとして提示する。

1. 研究分野の知識  
:法・地域・行政・社会・文化等の研究分野に関する基礎的かつ専門的知識を習得している。
2. 問題発見・調査・解読能力  
:国・地域・社会における諸問題を自ら発見し、調査・分析する能力を習得している。
3. 解決能力・応用能力  
:発見し、調査・分析した諸問題につき、解決する応用的能力を習得している。
4. 表現力・コミュニケーション能力  
:習得した知識・考察した結果を発表し、議論する能力を身につけている。

### 専攻ごとのディプロマ・ポリシー

#### 法学専攻

1. 法学のみならず、政治学・行政学関連の科目や、社会学・比較文化関連の科目を学際的に履修して、視野を広げて深い洞察力を身に付けた上での政策法務的な「法的な思考」を習得している。(リーガル・マインド)
2. 市民としての政治参加、裁判員制度、企業法務、公務員としての法的実践などに適応し、国および地域の複雑かつ多様な社会現象に法的に対応することができる。(社会における応用能力)

以下の情報は、2018 年度以前の入学生用です。

3. 国および地域の法的問題を自ら発見し、必要な法令・判例や文献の調べ方・読み方・まとめ方・報告の仕方などの基本的技術を活用して、問題を解決することができる。(問題発見・解決能力)
4. 習得した知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、異文化理解能力およびコミュニケーション能力などを駆使することができる。(表現力とコミュニケーション能力)

### 地域と行政専攻

1. 政治・行政・社会にかかわる研究分野の基礎的知識を習得している。(基礎的知識)
2. 地域の固有性と多様性を現地調査によって十分に把握し、様々な資料を読み解き、考える力を身につけている。(調査能力と思考力)
3. 様々な研究分野の関連性を思考しながら、地域社会の諸問題の解決に向けて、積極的に貢献するための能力を習得している。(応用能力)
4. 習得した知識や思考を適切に表現する力、他者と協力して活動できるコミュニケーション能力を習得している。(表現力とコミュニケーション能力)

### 社会と文化専攻

1. 社会学、歴史学、教育学、文化研究等のいずれかについての専門的な知識を習得し、かつ「社会と文化」の研究にかかわる学際的な基礎知識を身につけている。(社会・文化研究にかかわる学際的および専門的知識)
2. 現代社会の諸問題、地域社会の問題や、歴史理解、異文化理解、国際交流等にかかわる問題を、みずから発見し、考察し、その解明・解決の方向性を見出すことができる。(社会・文化研究への応用能力)
3. 文献や資料その他の必要な情報源を見つけ出し、それらを解読し、その成果をみずからの立てた問題に照らして、活用することができる。(調査能力と情報解読能力)
4. みずからの考察の成果を、文章によって論理的に表現することができる。また、意見交換や討議を尊重しつつ、その成果を的確に伝達することができる。(表現力とコミュニケーション能力)